

歴史と哲学の県立熊谷図書館 = 資料案内 =

# Lib. Letter

2005 Summer [6~8月] 季刊

平成 17 年 6 月 1 日 通巻 第 1 号

編集・発行 埼玉県立熊谷図書館

<http://www.lib.pref.saitama.jp/> Tel 048-523-6291

## 夏の出来事—中山道と熊谷宿—

1634年(寛永11年)8月4日は、参勤交代の始まった日です。

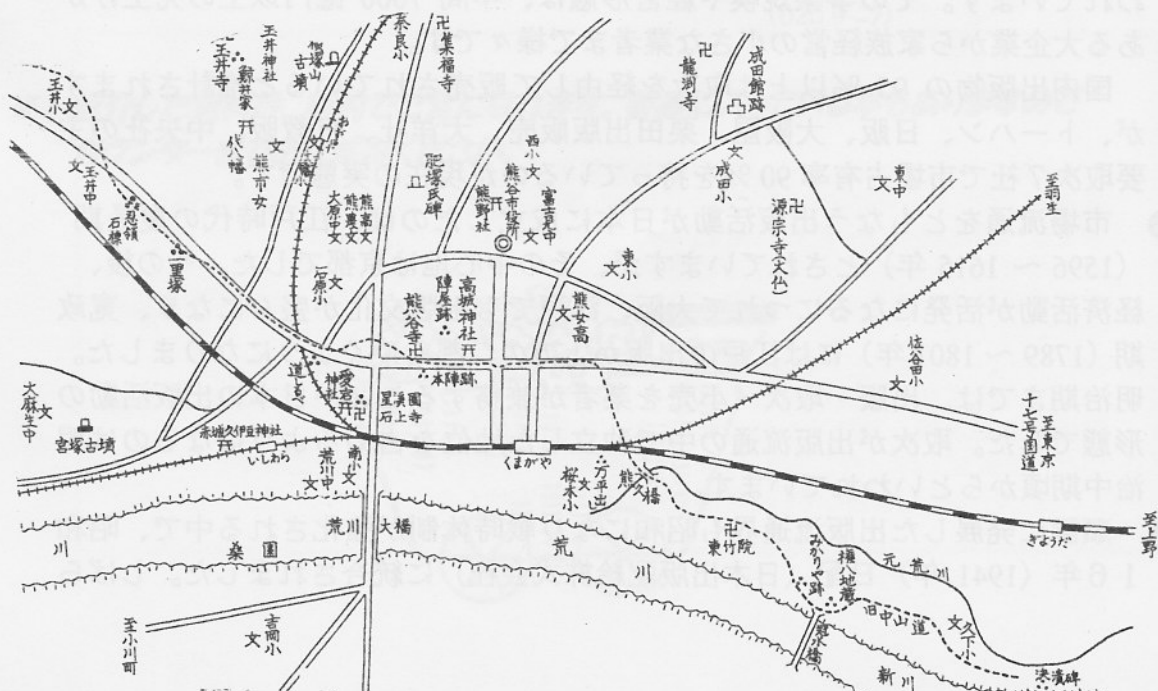
江戸時代、幕府は参勤交代のため五街道を整備しました。そのうち中山道は表の東海道に対し裏通りとよばれ、通行する大名の数は、東海道に比べ少なかったようです。しかし大きな川がないため、川止めや河川の氾濫が少なく、重要な街道のひとつとして多くの旅人が行き来しました。1861年(文久元年)皇女和宮が幕府に輿入れした時にも中山道が使われ、熊谷宿では本陣竹井家に宿泊しました。詳しくは『皇女和宮と中山道』依田幸人著 信毎書籍出版センター刊 に記されています。

熊谷市内の中山道の道筋は、荒川堤を通ったあと、熊久橋(ゆうきゅうばし)から堤をおりて、現在の国道17号に出て熊谷宿に入ります。この荒川堤(久下の長土手といわれる)は当時家が一軒もなく、さびしいところだったといわれています。

[参考:『やさしい熊谷の歴史』 中島 武著 熊谷市児童文化協会発行]

中山道と熊谷宿の昔と今については、『市報くまがや』2000年6月から2002年3月まで“市内の中山道をたどる”に連載されました。

熊谷市内中山道案内図 [やさしい熊谷の歴史より]



他に中山道と熊谷宿関連の資料として、下記のものがあります。

- 『中山道を行く2』 荻野梯著 文献出版 1987 (S682ナ)  
『今昔中山道独案内』 今井金吾著 日本交通公社出版事業局 1986 (291.5)  
『中山道の民話』 市川栄一文 池原昭治絵 1997 (388ナカ)  
『地図4』 平凡社 1994 (R291.03)  
『さいたま歴史街道』 吉本富男著 埼玉新聞社 1990 (S682ナ)  
『開設四百年 中山道』 埼玉県立博物館編・発行 2002 (S682ナ)  
『中山道』 埼玉県立博物館編 埼玉県教育委員会 1986 (歴史の道調査報告書 5)  
(S682ナ)

---

久下の長土手のそばに権八地蔵といわれる地蔵が立っています。白井権八という人が商人を待ち伏せて殺し、金を奪ったとき、「誰にも言うな」と地蔵に言ったところ、「わたしは言わないがおまえが言うなよ」と口をきいたといわれています。『中山道の民話』ほかより

---

## 本の豆知識 - 本と出版の話 -



### < 夏のお題: 取次と出版流通 >

- 出版業者が刊行する本や雑誌などの出版物を小売書店に配送する卸業者のことを一般に総称して取次（取次会社）と呼んでいます。わかりやすくいうと本の間屋ともいうべきものですが、その数は平成16年（2004年）3月現在で33社（日本出版取次協会加盟社）あり、協会未加盟の主として専門資料などを扱う中小業者を含めるとおよそ100社あるといわれています。その事業規模や経営形態は、年間7000億円以上の売上げがある大企業から家族経営の小さな業者まで様々です。  
国内出版物の95%以上は取次を経由して販売されていると推計されますが、トーハン、日販、大阪屋、栗田出版販売、大洋社、日教販、中央社の主要取次7社で市場占有率90%を持っているのが現在の実態です。
- 市場流通をとともなう出版活動が日本に成立したのは、江戸時代の慶長期（1596～1615年）とされていますが、その中心地は京都でした。その後、経済活動が活発になるにつれて大阪、江戸でも出版文化が盛んになり、寛政期（1789～1801年）には江戸の出版が上方の二都を凌ぐようになりました。明治期までは、出版・取次・小売を業者が兼務することが日本の出版活動の形態でした。取次が出版流通の中で独立した地位を占めるようになるのは明治中期頃からといわれています。
- 順調に発展した出版流通界も昭和になり戦時体制が強化される中で、昭和16年（1941年）日配（日本出版配給株式会社）に統合されました。しほら

くの低迷の後、戦後の昭和24年（1949年）日配の解散とその後の混乱を乗り越え、新会社が次々と設立されるようになり、新たな飛躍の時代が到来し、現在に至っております。

#### —参考・引用文献—

- 最新図書館用語大辞典 図書館用語辞典編集委員会 編 柏書房 2004年 (R010.33-㍿)
- 出版データブック 改訂版 出版ニュース社 編 出版ニュース社 2002年 (R023.1-㍿)
- 白書出版産業 日本出版学会 編 文化通信社 2004年 (023.1-㍿)
- 日販50年のあゆみ 日本出版販売株式会社 2000年 (024.067-㍿)
- 日本の書籍出版社 日本エディタスクール 編 日本エディタスクール出版部 1995年 (023.1-㍿)
- 出版の検証 敗戦から現在まで 日本出版学会 著 文化通信社 1996年 (023.1-㍿)
- 限りなき「出版統計」の道を求めて 石井彦澄 著 三笠書房 1986年 (023.1-㍿)

#### —関連資料—

- 江戸時代の図書流通 長友千代治 著 思文閣出版 2003年 (023.1-㍿)
- 戦後名編集者列伝 櫻井秀勲 著 編書房 2003年 (021.43-㍿)
- 岩波書店と文芸春秋 「世界」・「文芸春秋」に見る戦後思潮 毎日新聞社 1996年 (023-イ)
- 本のひらく径〈こみち〉 原田奈翁雄 著 日本エディタスクール出版部 1988年 (023-㍿)
- 定本ベストセラー昭和史 塩澤実信 著 展望社 2002年 (023.1-㍿)
- 古本病のかかり方 岡崎武志 著 東京書籍 2000年 (024.8-㍿)
- ニッポン文庫大全 紀田順一郎 他監修 ダイヤモンド社 1997年 (025.9-㍿)

※ 紹介した資料は、館内でご覧になれます。書庫に入っている本もありますのでカウンターまでおたずねください。





## こんな資料がはまりました

- ◆ 他界からのまなざし ー臨生の思想ー 古東哲明編 講談社 (104タカ)
- ◆ はじめて学ぶメンタルヘルスと心理学 ーこころの健康をみつめてー 吉武光世編著 学文社 (159ハシ)
- ◆ 千年の修験 ー羽黒山伏の世界ー 島津弘海編著 新宿書房 (188、59セン)
- ◆ 神になった秀吉 ー秀吉人気の秘密を探るー 市立長浜城歴史博物館編・刊 (289、1トヨ)
- ◆ 科学者キュリー セアラ・ドライ著 青土社 (289、1キユ)
- ◆ 古代祭祀とシルクロードの終着地沖ノ島 弓場紀知著 新泉社 (219.1コタ)
- ◆ 中央ユーラシアを知る事典 小松久男〔ほか〕著 平凡社 (R292、96チュ)
- ◇ 白神山地ー命そだてる森ー NHKソフトウェア発行 寺尾聰語り (291シ) DVD
- ◇ 世界遺産の旅 スペイン NHK制作 NHKソフトウェア (293セ) DVD
- ◇ 絵本読み聞かせ 1~3 高山智津子講演・実践 チャイルド本社 ビデオテープ
- ◇ 白川静の世界 1~3 紀伊国屋書店 (293) ビデオテープ
- ◇ 映像詩 里山 1・2 NHK制作・著作 NHKソフトウェア (291エ) DVD

### ◆図書 ◇視聴覚資料

貸出中のものもあります。カウンターまでおたずね下さい。



ハリーポッターシリーズのドイツ語版・フランス語版が入りました。  
日本語版と絵を書いた人が違います。比べてみて下さい。

\*フランス語版には、「不死鳥の騎士団」はありません。



## —図書館からのお知らせ—

- ☆ 6月上旬からインターネットによる官報情報検索サービスを開始します。  
職員がカウンター内のパソコンで検索いたします。昭和22年5月3日からの記事が検索でき、複写料金は一枚10円です。  
※利用者用インターネット端末での提供はしていません。
- ☆ 県立図書館ホームページで公開している県立図書館所蔵資料情報の複写ができるようになりました。
- ☆ 6月上旬より、2階ロビーにて「旅の日本史」と題してテーマ展示を行います。
- ☆ 『埼玉県内在住外国人のための県内公共図書館ガイドブック』日本語版、中国語版、韓国・朝鮮語版、英語版を作成しました。各階で配布しています。
- ☆ 子ども読書室では、今、らっかせい、あさがお、イネの芽がでたところです。  
これからどんどん成長していく過程を観察してみませんか。